＜報道関係各位＞

2026年11月27日
フォーバルPR事務局

フォーバル、
東京都が推進する「東京港藻場創出活動」に参画
～参画後初のイベント「アマモの種播き会」に社員とその家族が参加～

株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 將典、以下「フォーバル」）は、東京都が推進する「東京港藻場創出活動」に今年度よりパートナー企業として参画しました。

このたび、参画後初の活動となる「アマモの種播き会」にフォーバルの社員およびそのご家族が参加し、東京湾の豊かな海洋環境の保全と再生に向けた取り組みを行いました。



フォーバルグループの海洋環境保全への取り組み

フォーバルグループは、ESG経営の推進の一環として生物多様性の保全に取り組んでいます。2024年度から参画している「東京湾UMIプロジェクト」は今年で3年目を迎え、アマモ場の再生を通じて、ブルーカーボンの創出や生物多様性の保全など、海洋環境の保全活動を継続的に支援しています。

アマモ場は、海中の二酸化炭素を吸収するブルーカーボン生態系の一つであるとともに、小魚の生育・産卵の場として機能する「海のゆりかご」とも呼ばれ、水質浄化や生態系の維持にも重要な役割を果たしています。

フォーバルグループは、こうした活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

▼過去の取り組み
『ESGレポート2026』：https://www.forval.co.jp/pdf/esg_report2026.pdf
港湾局（東京港藻場創出活動）：https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/yakuwari/moba01
東京湾UMIプロジェクト：https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/59engan/umipro/umipro.htm

「アマモの種播き会」の様子

2026年11月21日（土）、お台場海浜公園で開催された「アマモの種播き会」に、パートナー企業の社員やそのご家族、地域の皆さま、近隣小学校の児童など、約200名が参加しました。このうち、フォーバルグループからは社員とそのご家族16名が参加しました。

当日は、アマモの種を専用の基盤に取り付ける作業などを行い、藻場の創出に向けた海洋環境保全活動に取り組みました。

本活動は、会社や部門の垣根を越えて多様な参加者が集い、海洋環境や生物多様性の重要性について学びながら、環境保全への理解を深める貴重な機会となりました。



株式会社フォーバルについて

株式会社フォーバル（東証スタンダード：8275）は、中小・小規模企業向けの伴走コンサルティングを主力事業とし、「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野で経営支援サービスを展開しています。独自の「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）」モデルを通じて、経営課題の可視化から改善提案、実行支援までを一気通貫で提供し、ESG経営、人的資本経営、DX/GX推進など企業価値向上に資する高付加価値支援を行っています。

また、地方創生戦略「F-Japan構想」のもと、自治体、民間企業、教育機関、金融機関との連携による地域共創モデルの構築および横展開を推進しています。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル
代表：代表取締役社長 中島 将典
設立：1980年（昭和55年）9月18日
所在地：東京都渋谷区神宮前5丁目52番2号青山オーバルビル14階
URL：https://www.forval.co.jp